



No. 5

規定された入所型老人福祉施設、いわゆる「老人ホーム」は、養護老人ホームと特別養護老人ホーム

私事ではありますが、私の主人の母は、二年ほど前から老人保健施設のお世話になっていました。また、生家の母も、茨城の地で老人ホームのお世話を受け、亡くなって一年半になります。友人との会話にも、姑が老人ホームのお世話になっていて、ことや、痴ほうになった母親のお世話が大変であることなどの話題が多くなりました。私自身の老後についても、いろいろと考えさせられる近ごろです。

### 養護老人ホームと

### 特別養護老人ホーム

現在、市内にある老人福祉法に

## 特別養護老人ホームを訪ねて

リポーター 高清水 友子 さん  
(相 染 町)

の二種類に区別されます。

養護老人ホームとは、「心身の障害または環境上（住宅事情や家族との関係など）の理由によって居宅で養護を受けることが困難なおおむね六十五歳以上のかたを受け入れる施設」であるといえます。市内の施設では、軽井沢の「成章園」がこれにあたります。

これに対し、特別養護老人ホームとは、「重い心身障害があり、常時の介護を必要とするが、居宅でそれが受けられないおむね六十五歳以上のかたを受け入れる施設」であるのだそう。養護老人ホームに比べ「常時の介護」を要する点が異なります。心身の状態がより深刻であることが、ここへ入所されるかたの特徴としてあげられるものと思われれます。市内では、花岡町の「神山荘」と、今回お訪ねした下代野の「水交苑」がこれにあたります。

二種類の施設はこのように入所要件が異なっています。今回の取材で初めてこの区別を知り、驚きました。これまで単純に「老人ホーム」としてひとくくりにして受け止めていたのは、もしかすると私だけではないことでしょうか。

### 特別養護老人ホームでの生活

施設に入所されているかたたちは、日常、どのような生活を送っているのでしょうか。工藤施設長に伺ってみました。



高清水リポーター

「基本的には、家庭の延長線上にある生活を心掛けています」。その根底には、入所者を特別視せず、普通のかたと同じように受け入れ、必要な処置をしようというノーマライゼーションの考え方があつたのです。入所者に施設で楽しく生活していただくために何をすべきか、職員の皆さんが一丸になって日々研究を重ねているのだそうです。「昔の養老院のイメージからか、家族から隔離されたという意識を持って入所される

かたもまだ少なくないようです。でも、そんなかたたちの表情が日ごとに穏やかになっていくのは、施設の仕事をしながら一番うれしいことですよ」。そんなお話を聞きました。

水交苑のイベントは、年間を通して目白押しです。お花見、遠足運動会、リング狩り、月ごとのお誕生会、クリスマス会、餅つき大会、数種類のなべ料理を用意して好きなものを食べて楽しむなべっこバイキングなど、このほかにも